

2024年6月3日

課題名：当院救急 ICU で腹部疾患から気管切開に至った患者の予後についての検討

◆研究の目的と概要◆

ICU で長い期間人工呼吸管理を必要とする患者さんはしばしば気管切開を必要とします。腹部疾患のために ICU に入室し、その後気管切開を必要とした患者さんがどういった転帰をたどるのか？について調べた報告はこれまでにあまりないようです。今回集中治療室に腹部疾患で入院し、気管切開を受けた患者さんの治療経過について調べています。

◆対象となる患者さん◆

2014年7月から2023年6月の間に腹部疾患で集中治療室に入室され、気管切開の処置を受けられた方

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、基礎疾患、入院前日常生活動作、主病名、入院時重症度、人工呼吸期間、気管切開理由、気管切開時期、集中治療室退室時転帰、退院時転帰、入院日数

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2024年6月25日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
集中治療科 研究責任者 鈴木 康大

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明